

WEP

ウエップ俳句通信

VOL. 56

俳句通信

特別作品25句 ● 百瀬美津「外ヶ浜は春でした」

特集 ● 碧梧桐の〈俳句無中心論〉を中心に

林 桂・鈴木一行・岸本尚毅・本井 英・小島 健・中山世一

座談会 ● 加藤耕子句集「翁忌」を読む

大輪靖宏・酒井佐忠・永方裕子・加藤耕子

【実力作家競詠 20 句】

藤木俱子「純白の橘」

三田きえ子「夏初月」

原和子「白河より須賀川へ」

【新作 30 句】

「同床異夢」磯貝碧蹄館

「蕎麥茶」塩川雄三

作品16句 ● 田中水桜・猪俣千代子・神蔵 器・辻田
克巳・大串 章・森田公司・中根唯生・
長沼紫紅・関口祥子・岩淵喜代子・松本
津木雄・高岡すみ子・広瀬恵美子・間島
あきら・山口昭男 ほか

● 好評エッセイ ●

視野遠近「龍太の“山”」廣瀬直人

夢「子規・虚子のことば」倉田敏文

伝統の探求「平明②——難解派の系譜」筑紫磐井

戦後の俳人たち「相馬遷子」松岡ひでたか

虚子の肖像「童貞」坊城俊樹

誓子の楽粒子「平淡」品川鈴子

西鶴俳諧思いつくまま

「矢数俳諧の秘密を解く題材一覧」荒川有史



特集

碧梧桐の〈俳句無中心論〉を中心に……………49

碧梧桐「無中心論」と現在
写生と季題 無中心論をめぐるって
「無中心」とは
海鼠箆にあり
季語は桎梏か？
俳句無中心論について

林 桂……………50
鈴木一行……………54
岸本高毅……………58
本井 英……………60
小島 健……………62
中山世一……………64

座談会

加藤耕子句集『翁忌』を読む……………123

大輪靖宏・酒井佐忠・永方裕子・加藤耕子

特別作品25句

「外ヶ浜は春でした」
百瀬美津……………22

実力作家競詠20句

藤木俱子「純白の楯」……………90
三田きえ子「夏初月」……………92
原 和子「白河より須賀川へ」……………94

新作30句

「同床異夢」
磯貝碧蹄館……………104

「薔薇茶」
塩川雄三……………108

COLOR PAGE

信州・大糸線沿線の初夏……………3
季節の中で④
佐藤麻績（千葉県・手賀沼）……………10
書齋にて②
松村多美（東京都杉並区）……………12
ワエツブ・ブチット・ギャルリー①……………14
そして風③
鈴木節子
（蟹・泰山本の花・夏の秋）……………16
日本の祭り③
相馬野馬追（福島県）……………18
季節の名句 水馬……………19



イラスト 田中丸葉子
デザイン 山口博子
編集 ウエップ編集室

作品16句

田中水桜	観音山	28
猪俣千代子	巢箱	30
下鉢清子	日永	32
神蔵器	白牡丹	34
関口恭代	糸遊	36
保坂リエ	のどか	38
辻田克巳	温雅	40
加藤耕子	名古屋見晴台遺跡にて	42
大串章	桜前線	44

珠玉の7句

森田公司	丁字桜	66
中根唯生	弱法師	67
長沼紫紅	花の雨	68
関口祥子	芹摘み	69
岩淵喜代子	この世	70
松本津木雄	春夕焼	71
檜紀代	一寸の虫として	72
高岡すみ子	青すだれ	73
西池冬扇	百太夫	74
広瀬恵美子	龍天に	75

近詠7句

岩城善朗	練群来	136
田中清子	花の雨	137
三原椿	関口芭蕉庵	138
小林木の実	梅雨ごもり	139
長峰賢子	胸に虫	141
廣瀬雅男	八ッ場	140
河合信子	麻暖簾	142

青谷小枝	丹の塔	143
間島あきら	夕桜	144
前田攝子	春の山	145
山口昭男	葉琴	146
井上郁代	足の小指	147

エッセイ

福野透近詠

龍太の「山」

要34

子規・虚子のことば

平明②——雑解派の系譜

戦後の俳人たち②

相馬遼子

童貞

平淡

一句一思①

方南町から⑤

子規の藍刈

文学エッセイ——放浪のかたち②

現代中国の光と影

西池冬扇おもいづくまま①(最終回)

矢放俳諧の秘密を解く題材一覧

現代俳句野島

WEP俳句通信54号より

廣瀬直人

倉田絢文

筑紫磐井

松岡ひでたか

坊城俊樹

品川鈴子

120	111	114	112	102	98	96	88	82	76	66	64	62	58	56	54	52	50	48	46	44	42	40	38	36	34	32	30	28
-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

書評

中沢三省句集「あたたかき手」を読む 浅井良子 158

句会・吟行

超結社句会 新12番勝負 160

今井聖・杉浦恵子・土肥あき子・根岸善雄

(ホスト 星野高士・藤本美和子)

第46回超結社吟行 173

青葉若葉の会津・越後をゆく

ひまわり・帆・やぶれ傘 ほか

超結社句会

「双樹の会」報⑤ 182

「四睡会」報① 183

「花園句会」報② 184

結社推薦精説作家

鳴

曹海波

般若

遠矢

草林

あだち野

ひまわり

やぶれ傘

■ウェブ俳句教室 佳吟選②

■インフォメーション

■編集後記

194	186	180	157	150	155	154	153	152	150	149
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

碧梧桐の

〈俳句無中心論〉を

中心に

近・現代の俳句の歴史のなかで河東碧梧桐が陰に陽にひとつの〈問題〉であり続けてきたのはまちがいないものと思われれます。初期の写生句を肯定しつつ、新傾向俳句以後の碧梧桐の俳句人生を否定的にみる見方が多いと思われれますが、その試行の生の在り方に関心をよせる人は少なくありません。そうした試行の生のなかで碧梧桐が唱えた〈俳句無中心論〉には、現在の俳人の多くが認めている〈季語の本意〉への検証の試みがあったと思われれます。それは、依然として現在の問題と思われれます。その問題についての考え、さらに季語についての現在の考え、思いを書いていただきました。



【座談会】

加藤耕子句集 『翁忌』を読む

出席者 大輪靖宏・酒井佐忠
永方裕子・加藤耕子

編集部 加藤耕子さんに「ウエツフ俳句通」に折々掲載させていたのだ句をまとめたのが今度刊行されました「翁忌」です。この句集を読み会をこれから聞くわけですが、まずは句

集を読まれた全体的な印象、感想から入り、次いで各章の句について具体的に鑑賞していただければと思います。
大輪 わたしがこの句集を拝見してまず感じたのは、強さというか道力というか、訴えかけてくる方の強さですね。それがどこからくるか分析すると、対象を把握する正確さ、そ

